

今後の国民スポーツ大会の在り方に関する意見

国民スポーツ大会は、地域のスポーツの振興や地域経済の活性化に重要な役割を果たしており、今後も継続して実施していく必要がある。

しかしながら、国民スポーツ大会の開催に当たっては、主催者のみならず、各競技の会場地となる都市自治体においても、競技開催に係る運営経費や競技会場の新設・改修など施設整備費などの財政負担が大きいこと、また、自治体職員のみならず、臨時的な職員の採用やボランティアの方々によって、大会を支える人員を確保しているなど、人的負担も大きいことが、多くの都市自治体からの課題として挙げられている。

このような中で、国民スポーツ大会を将来に向かって持続可能なものとしていくためには、開催地の負担軽減を図ることが極めて重要である。

については、今後の国民スポーツ大会を考えるに当たって、大会のスリム化に向け、競技施設基準の見直しや更なる弾力的運用、また、経費負担の見直しや会場地自治体の競技運営、施設整備に対する財政支援の充実、人的支援の創設などについて、多面的に検討していくことが必要である。

令和6年9月4日

鹿児島市長（全国市長会）

下 鶴 隆 央